

◆ 令和6年度 部長マニフェスト ◆ 都市整備部長

部の概要

所属課と人員 (R6.4.1現在)	都市計画課・道路交通課・下水道課・国立駅周辺整備課(富士見台地域まちづくり担当含む)・南部地域まちづくり課(都市農業振興担当含む)	79人	
----------------------	---	-----	---

部の運営方針

・「国立市人材育成方針」に基づいてまとめた部のミッション(都市整備部の存在意義)を「地域ごとの価値を活かし、市民生活を支える、魅力あるまちをつくる」としています。

・市民一人ひとりが「幸せ well being」を感じられる生活の土台をつくるためには、その基盤となるまちを、安心安全で魅力的なものにしていくことが必要です。そのまちを形づくることこそが都市整備部の存在意義となります。

・その存在意義に基づいて事業を進めていくにあたっては、基盤整備担当部長が担当する事業とともに、「ソーシャルインクルージョン」「SDGs」の理念を念頭に事業を進めていくことが求められています。

令和6年度の重点項目

No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	都市計画に関する事業	・都市計画マスタープランは「5年を目途として、市民参加による評価を実施した上で必要と認められた場合には見直しを行う」こととされており、今年度より改訂に着手する。 ・城山南地区地区計画区域において、緑の充実等、市の施策に応ずる地域のまちづくりの方向性を検討し、その実現のために地区計画及び用途地域の見直しを行う。		
2	国立駅周辺まちづくりに関する事業	・道路交通課と共に国立駅南口駅前広場基本設計業務を行う。 ・基本設計を進める中で、暫定広場を実験的に活用し、その結果を反映させる。 ・基本設計において、ワークショップや社会実験を実施し、市民の声を聴きながら事業を進める。		
3	富士見台地域まちづくりに関する事業	・重点まちづくり構想に基づき、重点エリアにおける事業推進のため、「支え合いの仕組みづくり」「住みたくなる、住み続けられる環境整備」「未来に向けた重点エリア検討」プロジェクトについて、今後のあり方について対話と合意形成を図るとともに、庁内で議論を重ねる。 ・「市民まちづくりプロジェクト100」のリーディングプロジェクトとして、創造的な場づくりにつながるワークショップを通じて、より幅広い人材の発掘と将来に向けた関係性の構築を図る。		
4	南部地域まちづくりに関する事業	・南部地域における都市基盤を整備するため、道路整備事業を進める。 ・矢川上地区において、土地区画整理事業の廃止と地区計画による新たなまちづくりを進める。 ・南武線連立事業と連動した沿線まちづくりを進め、矢川駅周辺基盤整備計画に基づき、駅前広場等の整備に向けた都市計画手続きを行う。		
5	農業振興に関する事業	・農業者に向けて、都市農地貸借円滑化法に基づく国立市生産緑地マッチング支援事業の周知を図り、農地所有者・農業者への意向調査を踏まえ、貸借希望者に対するマッチング支援を実施する。 ・第三次農業振興計画に規定する、農業振興のために優先的に取り組むテーマについて、農業者等の関係者と共に具体的事業を検討し、施策を実現していく。		

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満